

2. LC-MS/MS を用いた向精神薬の一斉分析法の検討

環境科学課 小原 浩史・平野 真悟
宗 かよこ・中牟田 啓子

第 45 回日本水環境学会年会

近年、河川等の水環境中から医薬品類が検出されており、水生生物等環境への影響が懸念されている。医薬品類は生理活性を持つものが多く、特に向精神薬は精神病等の治療に用いられ、極微量で中枢神経系に影響を与える化学物質である。精神病患者数は10年前に比べ倍増しており、その治療に使われる向精神薬の使用量も増加している。そこで、今回 LC-MS/MS を用いた向精神薬の一斉分析法について検討を行った。その結果、11種類のサロゲート化合物を用いることにより、ESI(+)で22種類、ESI(-)で4種類の向精神薬を精度良く分析することが可能となった。